もしミニバックホーの調子が悪い場合、次の表により診断し、適切な処置をしてください。
わからない場合は購入されたクボタ建設機械販売会社または認定工場にご相談ください。

エンジン関係

現状	原因	処置
スタータが回らない場合	• 間違ったキーでエンジン始動しようとしている。	• "キーが違います エンジン始動できません"とメータパネルに表示されるので、正しいキーでエンジン始動する。
	• 金属部品（キーホルダなど）をキーに取り付けている。	• 金属部品をキーから外してエンジン始動する。
始動困難な場合	• 燃料が流れない。	• 燃料タンクを点検し、沈殿している不純物や水分を除く。 • 燃料フィルタとウォータセパレータエレメントを点検し、汚れていれば交換する。
	• 燃料送油系統に、空気や水が混入している。	• パイプおよび締付けバンドを点検し、損傷があれば新品と交換または補修しておく。 • 空気抜きをする。 （詳細は燃料系統のエア抜きのしかた（121 ページ）を参照）
	• 寒冷時にオイル粘度が高く、エンジン自体の回転が重い。	• ラジエータに熱湯をそそぐ。
	• バッテリがあがり気味で、回転力が弱くなって圧縮を越す勢いがない。	• バッテリを充電する。
出力不足の場合	• 燃料不足。	• 燃料を補給する。
	• エアクリーナの目詰まり。	• エレメントを掃除する。
突然停止した場合	• 燃料不足。	• 燃料を補給する。
排気色が異常に黒い場合	• 燃料が悪い。	• 良質の燃料に交換する。
	• エンジンオイルの入り過ぎ。	• 正規のオイル量にする。
水温計の表示が**[H]**を示す時（エンジンのオーバーヒート）	• ウォータポンプのシール不良。	• 交換する。
	• ファンベルトの伸び、または切断。	• 調整、または交換する。
	• サーモスタットの不良。	• 交換する。
	• 冷却水の不足。	• 規定量まで補給する。
	• ラジエータネット、ラジエータフィンのゴミ詰まり。	• 掃除する。
	• ヘッド、クランクケースの錆で冷却水が汚れている。	• 冷却水交換、防錆剤投入する。
	• ラジエータキャップの不良（蒸発）。	• 交換する。
	• 冷却水通路の腐食。	• 洗浄する。
	• 連続過負荷運転。	• 負荷を軽減する。
	• ヘッドガスケットの破損（冷却水の減少）。	• 交換する。
	• エンジンオイルの不足。	• 正規のオイル量にする。
	• 燃料噴射時期の不良。	• 調整する。
	• 燃料が悪い。	• 良質の燃料に交換する。

油圧関係

現状	原因	処置
作業機（ブーム、アーム、バケット）旋回、走行、ブレードの力不足、速度が遅い、または、動かない。	・ 作動油量の不足。	・ 作動油を補給する。
	・ ホース、配管継手部よりの油もれ。	・ 増締め、または交換する。

走行関係

現状	原因	処置
うまく走行しない	・ クローラに石などがかみこんでいる。	・ 除去する。
	・ クローラの張りすぎ、ゆるみすぎ。	・ 調整する。

制御関係

現状	原因	処置
アーム“かき込み”が動かない（同時に液晶表示部に“アーム制限システム異常”と表示され、ブザーがピ、ピ、ピッ、と鳴る。）	・ 配線の断線または短絡。	・ 交換する。
	・ 角度検出装置の破損。	・ 認定工場に連絡する。

通信制御関係

現状	原因	処置
稼働情報や位置情報がサーバにあがらない。	・ バッテリ接続したまま、長期間稼働していない。	・ エンジン始動するなどで、バッテリを充電する。
	・ 配線の断線、短絡。	・ 交換する。
	・ サーバがメンテナンス中。	・ メンテナンス期間が終了するまで待って確認して、改善されなければ、認定工場に連絡する。
	・ DCU（通信機器）からサーバへの稼働情報や位置情報の送信待機中。	・ 最大１日待って確認して、改善されなければ、認定工場に連絡する。
	・ サーバが受信した稼働情報や位置情報の処理待機中。	・ 最大１日待って確認して、改善されなければ、認定工場に連絡する。